

化学環境学特論第二講義計画（2008 年度）

1. 特論第二説明会 10 月 3 日（金） 13:20 ~ 14:20

2. 基礎知識確認テスト 10 月 17 日（金） 13:20 ~ 14:20

3. 化学環境学基礎レポート 締切：11 月 7 日（金）（提出先 → 竹内）

各人の修士論文研究テーマと地球環境との関係、環境問題解決に貢献しうるポイントなどを取り上げ、化学環境学専攻の学生として（研究成果、進捗状況とは無関係に）レポートを作成

4. 加藤山フィールド調査 11 月 28 日（金） 13:20 ~ （天候不良の場合は延期）

レポート：12 月 26 日（金）まで（提出先 → 竹内）

1983 年以降、樹木（約 700 本）の胸高直径測定を通じて、加藤山変遷の基礎データとする

5. 工場見学 12 月 12 日（金）

三井化学 工場（市原）および研究所（袖ヶ浦）を訪問

7:30 頃 キャンパス発予定

18:00 頃 キャンパス着予定

レポート：12 月 26 日（金）まで（提出先 → 石谷）

1）研究所、および工場見学を通じて特に興味を持った事項について、2）過去から現在に至る生産システムの改良点、3）研究所スケールから工業生産へスケールを拡張するにあたっての問題点と工夫、4）企業の環境問題に対する取り組みについて、5）見学中に行った質問とそれに対する答弁について、等をポイントにする（質疑は必ず含めること）

（参考）2007 年 静岡方面：旭化成富士研究所

2006 年 千葉方面：新日本製鐵君津製鐵所および技術開発本部

2004 年 埼玉方面：凸版印刷株式会社総合研究所および坂戸工場

2003 年 千葉方面：大日本インキ化学工業市原工場および化学工業総合研究所

2002 年 千葉方面：大日本インキ化学工業市原工場および化学工業総合研究所

2001 年 静岡方面：日本食品化工・富士工場、キリンシーグラム・富士御殿場蒸留所

6. 研究中間発表会 12 月 19 日（金） 集合 13:00、発表 14:00 ~ 17:00

ポスター形式で発表（14:00 ~ 15:30 整理番号奇数、15:30 ~ 17:00 整理番号偶数）

修士論文の研究進捗状況の報告。各人担当の実験結果（失敗したデータも含む）を基盤とする。短期、中期的な今後の計画も含める。

7. 特別講演・一般講演の聴講（2 件）とレポート提出

講演 1 件につき、A4 用紙 1 ~ 2 枚に講演内容、化学環境の視点からの所見を記す。2 件のうち 1 件には、各人で行った質疑内容とそれに対する答弁内容を含めること

提出期限：1 月 16 日（金）（提出先 → 石谷）